

単年度用

R4決算用

事業番号	4 - 75 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業				
<b>事業シート (概要説明書)</b>							
科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	
目	6		交通安全対策費				
事業名	交通安全施設対策事業				担当課	建設課	
総合戦略施策名	基本目標				担当係	管理補修係	
	基本的な施策の方向				作成責任者	吉田晃洋	
事務区分	自治事務	<input type="radio"/>	法定受託事務	<input type="checkbox"/>	事業開始年度	昭和46年度	
根拠法令等	道路交通法 附則第16条～						
実施の背景	交通の安全を図るため、交通安全施設の設置及び維持補修を行う。						
目的	交通危険箇所の改善、歩行者・車両双方にとって安全で円滑な交通の推進。						
事業概要	対象	市民				対象者数(全住民に対する割合)	
						40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	<input type="radio"/>	一部委託	<input type="checkbox"/>
			委託先・指定管理者				
		直接補助	<input type="checkbox"/>	間接補助	<input type="checkbox"/>	補助先	
貸付		<input type="checkbox"/>	貸付先				
その他	<input type="checkbox"/>	その他の内容					
<b>事業内容 (金額を含めた予算の執行内容)</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通安全施設修繕料 2,856,700円               <ul style="list-style-type: none"> <li>カーブミラー修繕 22件 2,743,400円</li> <li>ガードレール修繕 1件 36,300円</li> <li>ガードパイプ修繕 1件 77,000円</li> </ul> </li> <li>●交通安全施設設置工事 1,485,000円               <ul style="list-style-type: none"> <li>カーブミラー設置工事 1件 220,000円</li> <li>ガードレール設置工事 2件 1,265,000円</li> </ul> </li> <li>●交通安全施設設置工事(通学路) 21,754,700円               <ul style="list-style-type: none"> <li>市道湊数馬線区画線修繕工事 11,330,000円</li> <li>天羽地区通学路修繕工事 5,445,000円</li> <li>市道大堀中通線道路維持工事 1,265,000円</li> <li>市道岩瀬岩入線区画線設置工事 253,000円</li> <li>市道西大和田一色線舗装修繕工事 400,400円</li> <li>市道小久保岩瀬線道路維持工事 385,000円</li> <li>市道湊六野線区画線修繕工事 484,000円</li> <li>大堀地先交通安全施設設置工事 693,000円</li> <li>市道大関線区画線設置工事 795,300円</li> <li>市道更和花輪線区画線設置工事 242,000円</li> <li>市道湊竹岡2号線路面標示設置工事 462,000円</li> </ul> </li> <li>●原材料費 616,000円               <ul style="list-style-type: none"> <li>グレーチング U240用 70枚 616,000円</li> </ul> </li> <li>合計 26,712,400円</li> </ul>							
関連事業							

単年度用

R4決算用

事業番号	4 - 75 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	交通安全対策費	
事業名	交通安全施設対策事業					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	10,478		26,712		4,447		4,357		
	内訳 (人件費を除く)	原材料費	3,828	工事請負費	23,240	需用費	2,989	需用費	2,966	
		工事請負費	3,650	需用費	2,856	工事請負費	1,458	工事請負費	1,391	
		需用費	3,000	原材料費	616					
	人件費	合計	0.50人	3,234	0.50人	3,234	0.50人	3,276	0.50人	3,196
		正職員	0.40人	3,045	0.40人	3,045	0.40人	3,084	0.40人	2,979
		臨時職員等	0.10人	189	0.10人	189	0.10人	192	0.10人	217
	総事業費	13,712		29,946		7,723		7,553		
	財源	合計	10,478		26,712		4,447		4,357	
		国県支出金								
		国県支出金の内容								
地方債										
その他特財		2,100								
		その他特財の内容 公共施設等マネジメント基金繰入金								
一般財源	8,378		26,712		4,447		4,357			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度			
	カーブミラー修繕			件	22	24	22			
	ガードレール修繕			件	1	2	3			
	交通安全施設設置工事			円	23,239,700	1,457,500	1,391,170			
	単位当たりコスト	総事業費	／	市民	円	741	187	179		
事業成果	成果目標	安全で円滑な交通の推進を目的とすることから、市内人身事故発生件数の削減。								
	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度			
	市内人身事故発生件数（各年1.1～12.31の件数）			件	54	63	104			
	成果									
事業の自己評価	交通安全施設の拡充を図るとともに、交通安全啓蒙活動も重要である。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R4決算用

事業番号	40 - 13 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 1 土木管理費	目 1 土木総務費	
事業名	土木総務関係費 1		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度	
根拠法令等	地方自治法、公共用財産管理条例			
実施の背景	「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」（地方分権一括法）が平成12年4月1日に施行され、国土交通省（旧建設省）所管の赤道（里道）・青道（水路）などの法定外公共物が無償で市町村へ譲与されたことに伴い、市が法定外公共物の所有者となり、財産管理・機能管理ともに行うことになった。			
目的	法定外公共物の維持管理のため。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
その他	その他の内容			
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
●旅費			5,420円	
●法定外公共物の財産管理者として、適正な管理をするための事務費 消耗品 トナーカートリッジ ドラムカートリッジ 住宅地図富津市 202303 等			244,774円	
●法定外公共物の財産管理者として、適正な管理をするための管理システム用機器保守業務委託 カラープリンター 1台 委託料 【契約期間 R4.4.1~R5.3.31】			53,900円	
●建設課天羽地区詰所清掃管理委託 【契約期間 R4.4.1~R5.3.31】			161,460円	
●法定外公共物の財産管理者として、適正な管理をするための管理システム用機器借上料 カラープリンター 1台 借上料 【再リース契約期間 R5.4.1~R5.3.31】			13,200円	
●法定外公共物の財産管理者として、適正な管理をするための情報取得放送受信料 NHK放送受信料			14,205円	
関連事業				

単年度用

R4決算用

事業番号	40 - 13 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	1	土木管理費	目	1	土木総務費	
事業名	土木総務関係費 1					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	730		493		502		377		
	（人件費を除く） 内 訳	需用費	369	需用費	245	需用費	257	需用費	254	
		委託料	251	委託料	215	委託料	218	委託料	54	
		使用料及び賃借料	74	使用料及び賃借料	27	使用料及び賃借料	27	負担金及び交付金	54	
		旅費	36	旅費	6			使用料及び賃借料	13	
								旅費	2	
	人件費	合計	1.70 人	12,943	1.70 人	12,943	1.70 人	13,105	1.70 人	12,662
		正職員	1.70 人	12,943	1.70 人	12,943	1.70 人	13,105	1.70 人	12,662
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費	13,673		13,436		13,607		13,039		
財源	合計	730		493		502		377		
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	9					10	21		
	その他特財の内容 雑入									
一般財源	721		493		492		356			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		公共用財産使用許可申請			件	80	68	75		
		法定外公共物の用途廃止申請			件	8	6	2		
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	法定外公共物の適正な管理を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。								
	成 果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
事業の自己評価	本市が所有する法定外公共物のその多くが境界未確定であり、位置・範囲の特定が不明確である。費用対効果等を考慮すると、本市が積極的に境界確定を行い、管理していくことは困難であり、現状のままでの管理を継続していく。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R4決算用

事業番号	40 - 13 - 7 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 1 土木管理費	目 1 土木総務費	
事業名	土木総務関係費 2		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 用地係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 笠原隆文	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等				
実施の背景	用地係の所管事務を遂行するための経費。			
目的	用地係の所管事務を円滑に遂行することを目的とする。			
概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者 立会業務代行、登記業務…千葉県公共嘱託登記土地家屋調査士協会		
		直接補助	間接補助	補助先 実施主体
		貸付	貸付先	
その他	その他の内容			
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
	●旅費		2,810円	
	●消耗品費		659,485円	
	・境界標		605,550円	
	・事務用品		49,183円	
	・書籍		4,752円	
	●手数料			
	・印鑑証明書取得に係る定額小為替代		1,000円	
	●道路等境界確定に係る立会業務代行委託		6,894,054円	
	用地測量及び登記業務委託			
	・立会業務代行委託		2,472,400円	
	R4年度発注件数		74件	
	境界確定件数（過年度分含む）		52件	
	・用地測量及び登記業務委託(2件)		4,421,654円	
	●負担金補助及び交付金			
	千葉県官公署登記事務連絡協議会分担金		2,000円	
関連事業				

単年度用

R4決算用

事業番号	40 - 13 - 7 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	1	土木管理費	目	1	土木総務費	
事業名	土木総務関係費 2					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	11,941		7,559		8,283		5,893		
	（人件費を除く） 内 訳	委託料	11,362		6,894		7,572		4,914	
		需用費	566		659		706		697	
		旅費	8		3		4		227	
		役務費	5		2		1		44	
					1				11	
	人件費	合計	1.50 人		1.60 人		1.26 人		1.88 人	
		正職員	1.50 人		1.60 人		1.26 人		1.88 人	
		臨時職員等	人		人		人		人	
	総事業費	23,361		19,741		17,996		19,896		
財源	合計	11,941		7,559		8,283		5,893		
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財									
	その他特財の内容									
一般財源	11,941		7,559		8,283		5,893			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		道路等境界確定に係る立会代行業務（発注）			件	74	75	77		
		道路等境界確定に係る登記業務			件	2	5	4		
		公共用地対策協議会通常総会 官公署登記事務連絡協議会通常総会・理事会			回	1	1	1		
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	道路管理者及び財産管理者として管理義務があるため、公共用財産（法定、法定外）の適正な管理を図る。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		道路等境界確定申請に係る境界確定			件	52	83	58		
事業の自己評価	本市が所有する公共用財産の多くが境界未確定であり、区域の特定が不明確である。費用対効果等を考慮すると本市が積極的に境界確定を行い、管理していくことは困難であるが、法定公共用財産を優先的に用地処理を進める方向で継続していく。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R4決算用

事業番号	42 - 13 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 1 道路橋梁総務費	
事業名	道路橋梁総務関係費		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務	法定受託事務	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	道路法			
実施の背景	道路管理者として管理業務を遂行するための経費。			
目的	道路管理業務を円滑に遂行することを目的とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先 <input type="checkbox"/>
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先 <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容 <input type="checkbox"/>			
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●光熱水費 470,683円 大貫駅地下歩道水道料 16,500円 バスストップ等電気料（バスストップ、駐車場、監視カメラ、トイレ） 454,183円</li> <li>●手数料 36,460円 浅間山バスストップトイレ浄化槽点検 5,000円 浅間山バスストップトイレ水質点検 31,460円</li> <li>●道路賠償責任保険料 561,120円 (市道491km、その他道路28km)</li> <li>●道路台帳作成業務委託料 3,190,000円 富津市道路台帳補正業務委託</li> <li>●バスストップ 駐車場トイレ浄化槽保守点検 34,650円 富津浅間山バスストップ駐車場トイレ浄化槽保守点検業務委託</li> <li>●バスストップ 駐車場トイレ清掃業務委託 243,200円 富津浅間山バスストップ駐車場トイレ清掃管理委託</li> <li>●道路排水施設管理費負担金 158,684円 【県道大貫青堀線（大堀立体地下道） 大堀アンダーパス排水機場の維持管理費】 (負担割合) 県93.4%、市6.6% [流入量比]</li> <li>●県道路協会負担金 47,000円 通常会費 20,000円 特別会費 27,000円</li> </ul>				
関連事業				

単年度用

R4決算用

事業番号	42 - 13 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	1	道路橋梁総務費	
事業名	道路橋梁総務関係費					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	6,480		4,743		4,355		4,134		
	内訳 (人件費を除く)	委託料	5,148	委託料	3,468	委託料	3,114	委託料	3,049	
		役務費	603	役務費	598	役務費	598	役務費	562	
		需用費	525	需用費	471	需用費	410	需用費	372	
		負担金補助及び交付金	204	負担金補助及び交付金	206	負担金補助及び交付金	233	負担金補助及び交付金	151	
	人件費	合計	0.05 人	381	0.05 人	381	0.05 人	385	0.05 人	372
		正職員	0.05 人	381	0.05 人	381	0.05 人	385	0.05 人	372
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費	6,861		5,124		4,740		4,506		
	財源	合計	6,480		4,743		4,355		4,134	
国県支出金		国県支出金の内容								
地方債										
その他特財		17	14	16	印鑑証明・諸証明手数料					
一般財源		6,463		4,729		4,339		4,134		
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）				単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
	単位当たりコスト	総事業費 /								
	成果目標	道路の適正な維持管理を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。								
事業成果	成果	成果指標名（実績値/目標値）				単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
事業の自己評価	財産管理者として適正な維持管理を図るため、市道等のパトロールを定期的実施する。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R4決算用

事業番号	42 - 15 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 1 道路橋梁総務費	
事業名	防犯灯整備事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	防犯灯等整備対策要綱			
実施の背景	<p>夜間における犯罪の発生を防止し、公衆の安全を図る防犯灯の整備を促進。          →昭和36年8月「防犯灯等整備対策要綱」を閣議決定。          民間人の維持管理する防犯灯については、市町村は努めて費用負担することとなっている。</p>			
目的	<p>夜間の犯罪や事故を未然に防止し、安全・安心な街づくりのために大きな役割を果す防犯灯を整備する。</p>			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者 富津市防犯灯LED化事業・・・日立キャピタル(株)		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
その他	その他の内容			
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
<p>●光熱水費・・・電気料 21,713,248円          ・防犯灯・道路照明灯電気料</p> <p>●修繕料・・・2,773,141円          ・防犯灯修繕 20箇所 749,479円          ・道路照明灯修繕 20箇所 2,023,662円</p> <p>●LED防犯灯借上料 7,717,680円          ・月額643,140円×12ヶ月          ・5,455灯          ・借上ている防犯灯の修繕料含む</p> <p>●防犯灯新設工事 26灯 943,250円          ・前期 18灯 657,250円          ・後期 8灯 286,000円</p> <p>※新設工事以外での防犯灯の増減          地元区からの寄付 2灯</p> <p>H31.3.31時点 6,582灯          R2.3.31時点 6,623灯          R3.3.31時点 6,655灯          R4.3.31時点 6,696灯          R5.3.31時点 6,724灯</p>				
関連事業				

単年度用

R4決算用

事業番号	42 - 15 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	1	道路橋梁総務費	
事業名	防犯灯整備事業					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計		37,925	33,147	28,350	27,362				
	(人件費を除く) 内 訳	需用費	29,051	24,486	19,758	18,757				
		使用料及び賃借料	7,718	7,718	7,718	7,718				
		工事請負費	1,156	943	874	887				
	人件費	合計	0.50 人	3,807	3,807	3,854	3,724			
		正職員	0.50 人	3,807	3,807	3,854	3,724			
		臨時職員等	人	0	0	0	0			
	総事業費		41,732	36,954	32,204	31,086				
	財源	合計		37,925	33,147	28,350	27,362			
国県支出金		国県支出金の内容								
地方債										
その他特財		その他特財の内容								
一般財源			37,925	33,147	28,350	27,362				
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）				単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
	LED灯導入数（リース管理）				灯	5,455	5,455	5,455		
	要望にかかる新規導入数（LED灯）				灯	26	31	38		
	撤去（廃止）数				灯	0	1	0		
単位当たりコスト	総事業費	／	富津市民		915	781	737			
事業成果	成果目標	安全・安心な街づくりを目的としていることから、市内犯罪件数の削減。								
	成 果	成果指標名（実績値/目標値）				単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
		市内発生犯罪件数（各年1.1～12.31の件数）				件	172	135	211	
事業の自己評価	各区からの要望に対応できるよう効率的に防犯灯を設置し、また、引き続きLED灯を導入し省エネルギー化に努めた。また、住民から修繕等の連絡があった場合には迅速に対応した。									
比較参考値										
その他特記すべき事項	平成27年度に一般公募型プロポーザルにより決定した選定業者と賃貸借契約を締結し、LED灯への交換後（市内5,455灯）、10年間の維持管理（修繕）を含む賃貸借を開始した。									

単年度用

R4決算用

事業番号	42 - 15 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 2 土木管理費	目 3 道路橋梁総務費	
事業名	富津聖苑地元整備事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 平成30年度	
根拠法令等	本郷区との覚書			
実施の背景	富津聖苑の操業にあたり、本郷区と「火葬場を地元地区に設置する年限は業務開始時から25年以内とする。」（平成30年1月末まで）との覚書を締結した、このことに伴い、今後の火葬場の在り方について協議をした結果、君津地域4市での広域での火葬場整備を行うこととなった。しかし、広域火葬場の稼働が覚書の期限に間に合わないことから、改めて、要望事項等を記した使用期限延長の覚書を取り交わした。			
目的	本郷区と締結した覚書を順守し、市が管理する道路の安全な通行を確保するため、維持・補修を行う。 夜間の犯罪や事故を未然に防止し、安全・安心な街づくりのために大きな役割を果す防犯灯を整備する。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="checkbox"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		指定管理 <input type="checkbox"/>		
		委託先・指定管理者 立会業務代行、登記業務…千葉県公共嘱託登記土地家屋調査士協会		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先 <input type="checkbox"/>
貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先 <input type="checkbox"/>			
その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容 <input type="checkbox"/>			
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
<p>●市道平井2号線ほか舗装修繕工事 5,725,500円 舗装工 A=3,440m<sup>2</sup></p>				
関連事業				

単年度用

R4決算用

事業番号	42 - 15 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	2	土木管理費	目	3	道路橋梁総務費	
事業名	富津聖苑地元整備事業					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	0		5,726		10,780		14,575		
	内訳 (人件費を除く)			工事請負費	5,726	工事請負費	10,780	工事請負費	14,575	
	人件費	合計	0.00 人	0	0.38 人	2,893	0.38 人	2,929	0.38 人	2,830
		正職員	人	0	0.38 人	2,893	0.38 人	2,929	0.38 人	2,830
臨時職員等		人	0	人	0	人	0	人	0	
総事業費	0		8,619		13,709		17,405			
財源	合計	0		5,726		10,780		14,575		
	国県支出金									
	国県支出金の内容									
	地方債									
	その他特財			5,700						
その他特財の内容		公共施設等マネジメント基金繰入金								
一般財源	0		26		10,780		14,575			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度			
	防犯灯設置			灯	-	-	-			
	舗装打ち替え			m2	3,440	2,065	2,280			
	単位当たりコスト			総事業費	/					
事業成果	成果目標	富津聖苑の操業にあたり、本郷区と締結した覚書に基づく事業を行うものであり、成果目標の設定は困難である。								
	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度			
	成果									
事業の自己評価										
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R4決算用

事業番号	42 - 25 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 2 道路維持費	
事業名	道路維持事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	道路法第16条、第42条			
実施の背景	道路管理者として、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。			
目的	市道等の市が管理する道路の安全な通行を確保するため維持・修繕を行う。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
その他	その他の内容			
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
<p>●直営維持補修 45,350,672円            道路面の整備、陥没、側溝蓋の交換など速やかに対応するため、保有資機材を用いて直営で行う。            麻袋・バリケード、ダンプ等燃料・車検代、重機借上など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 1,801,699円</li> <li>・燃料費 1,405,404円</li> <li>・修繕料               <ul style="list-style-type: none"> <li>道路等修繕 2,788,329円</li> <li>車両修繕 15,898,080円</li> </ul> </li> <li>・手数料 143,175円</li> <li>・保険料 152,430円</li> <li>・重機借上料 10,996,810円</li> <li>・原材料費 11,815,045円</li> <li>・備品 82,500円</li> <li>・自動車重量税 267,200円</li> </ul> <p>●委託（外注）維持修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>危険性の高い箇所の樹木剪定や除草などを委託 31,310,803円</li> <li>規模の大きな修繕箇所における復旧工法の検討業務委託               <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道堀切線法面崩落に伴う復旧設計業務委託 3,080,000円</li> </ul> </li> <li>道路維持管理工事 40,700,000円</li> <li>直営で対応困難な、規模の大きな修繕や専門技術を要する維持修繕工事               <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道堀切線修繕工事 29,700,000円</li> <li>・川名地区排水路整備工事 11,000,000円</li> </ul> </li> </ul> <p>合計 120,441,475円</p>				
関連事業				

単年度用

R4決算用

事業番号	42 - 25 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	2	道路維持費	
事業名	道路維持事業					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	70,076		120,441		69,590		86,585		
	（人件費を除く） 内 訳	需用費	23,443	需用費	21,893	需用費	26,053	需用費	25,312	
		工事請負費	3,828	工事請負費	40,700	工事請負費	8,639	工事請負費	21,236	
		委託料	21,100	委託料	34,391	委託料	11,828	委託料	12,765	
		使用料及び賃借料	10,000	使用料及び賃借料	10,997	使用料及び賃借料	10,704	使用料及び賃借料	11,567	
		その他	11,705	その他	12,460	その他	12,366	その他	15,705	
	人件費	合計	12.20 人	61,412	12.20 人	61,412	12.20 人	62,184	12.20 人	61,833
		正職員	6.70 人	51,010	6.70 人	51,010	6.70 人	51,650	6.70 人	49,904
		臨時職員等	5.50 人	10,402	5.50 人	10,402	5.50 人	10,534	5.50 人	11,929
	総事業費	131,488		181,853		131,774		148,418		
財源	合計	70,076		120,441		69,590		86,585		
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債			34,900						
	その他特財	41,900		26,500		32,200		16,700		
				その他特財の内容		公共施設等マネジメント基金繰入金				
一般財源	28,176		59,041		37,390		69,885			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
	道路舗装修繕、排水修繕等					箇所	707	541	462	
単位当たりコスト		総事業費	／	修繕箇所		257	244	321		
事業成果	成果目標	道路を常時良好な状態に保ち、一般交通に支障を及ぼさないようにする。なお、道路の維持管理状況・一般交通への影響を表す統計値等がなく、成果指標を設定することは困難である。								
	成果指標名（実績値/目標値）					単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
事業の自己評価		<p>緊急度・影響度を勘案し優先順位を考慮しながら、限られた予算の中で、安全・安心な道路環境の維持に努める。</p> <p>道路の老朽化が進み、修繕での対応も限界に近づいている路線もあるため、大規模な修繕工事を実施する必要がある。</p>								
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R4決算用

事業番号	42 - 35 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 5 橋梁維持費	
事業名	橋梁維持事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	道路法第16条、第42条			
実施の背景	道路管理者として、道路を構成する橋梁を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。			
目的	市道等の市が管理する道路を構成する橋梁の安全な通行を確保するため維持・修繕を行う。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
その他	その他の内容			
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
<p>●流木処分委託料 丹後橋流木撤去等処分業務委託 2,885,080円</p>				
関連事業				

単年度用

R4決算用

事業番号	42 - 35 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業								
<b>事業シート（概要説明書）</b>											
科目	款	8 土木費		項	2 道路橋梁費		目	5 橋梁維持費			
事業名	橋梁維持事業					担当課	建設課				
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）				
コスト	合計	880		2,885		3,522		262			
	内訳 (人件費を除く)	需用費	880		委託料	2,885		委託料	2,653		
							需用費	869			
	人件費	合計	1.28 人	6,312		1.28 人	6,312		1.28 人	6,366	
		正職員	0.68 人	5,177		0.68 人	5,177		0.68 人	5,065	
		臨時職員等	0.60 人	1,135		0.60 人	1,135		0.60 人	1,301	
総事業費	7,192		9,197		9,913		6,628				
財源	合計	880		2,885		3,522		262			
	国県支出金										
		国県支出金の内容									
	地方債										
	その他特財	800				800					
	その他特財の内容		公共施設等マネジメント基金繰入金								
一般財源	80		2,885		2,722		262				
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度				
	橋梁修繕等			箇所	1	2	1				
	単位当たりコスト			総事業費 / 修繕箇所	9,197	4,957	6,628				
事業成果	成果目標	橋梁を常時良好な状態に保ち、一般交通に支障を及ぼさないようにする。なお、橋梁の維持管理状況・一般交通への影響を表す統計値等がなく、成果指標を設定することは困難である。									
	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度				
	成果										
事業の自己評価	<p>緊急度・影響度を勘案し優先順位を考慮しながら、限られた予算の中で、安全・安心な橋梁の維持に努める。</p> <p>道路の老朽化が進み、修繕での対応も限界に近づいている路線もあるため、大規模な修繕工事を実施する必要がある。</p>										
比較参考値											
その他特記すべき事項											

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 45 - 15 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	市道湊富士見台線整備事業					担当課	建設課			
総合戦略施策名	基本目標					担当係	建設係			
	基本的な施策の方向				施策番号			作成責任者	岩崎太志	
事務区分	自治事務	<input type="radio"/>	法定受託事務	<input type="radio"/>			事業開始年度	平成30年度		
根拠法令等	道路法									
実施の背景	当該市道については、天羽中学校への通学路を兼ねる生活圏道路であるが、道路幅員が狭く車の通行や歩行者の安全に支障があるため、改良する必要性が高い。									
目的	拡幅可能な箇所について拡幅工事を実施し、道路環境の整備を図ることを目的とする。									
事業概要	対象	市民					対象者数(全住民に対する割合)		40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	<input type="radio"/>	一部委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="radio"/>	
		委託先・指定管理者	登記業務…千葉県公共嘱託登記土地家屋調査士協会							
		直接補助	<input type="radio"/>	間接補助	<input type="radio"/>	補助先				
		貸付	<input type="radio"/>	貸付先						
		その他	<input type="radio"/>	その他の内容						
	<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>									
	全体計画	計画期間		平成 30 年度 ~ 令和 6 年度						
	市道湊富士見台線整備事業 L=920m W=4.5~7.0m ●市道湊富士見台線及び排水路 測量、用地測量、設計業務、不動産鑑定、用地取得、登記業務、埋蔵文化財調査 道路・排水整備工事									
	<b>施行済</b> 道路改良工事、測量、設計業務、不動産鑑定									
<b>当該年度</b> ●消耗品 200円 ●登記業務 270,655円 ●道路用地取得 1,646,913円 ●市道湊富士見台線流末排水整備工事（令和4年度支出分） 8,220,000円										
<b>翌年度以降</b> 物件調査、用地取得、物件補償、登記業務、道路・排水整備工事										
関連事業										

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 45 - 15 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	市道湊富士見台線整備事業					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	70,025		10,138		13,534		58,039		
	内訳 (人件費を除く)	工事請負費	70,000	工事請負費	8,220	委託料	10,774	工事請負費	33,019	
		旅費	21	公有財産購入費	1,647	公有財産購入費	2,030	委託料	25,020	
		需用費	4	委託料	270	役務費	566			
				需用費	1	需用費	156			
						旅費	8			
	合計	1.36 人	10,354	1.36 人	10,354	1.36 人	10,484	0.30 人	2,235	
	人件費	正職員	1.36 人	10,354	1.36 人	10,354	1.36 人	10,484	0.30 人	2,235
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費	80,379		20,492		24,018		60,274		
財源	合計	70,025		10,138		13,534		58,039		
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債	70,000		9,800		12,700		57,100		
	その他特財									
	その他特財の内容									
一般財源	25		338		834		939			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		用地取得			千円	1,647	2,030			
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	天羽中学校生徒の学習環境、生徒、市民の安全を確保しながら整備を図る。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		道路の完成			路線					
事業の自己評価										
比較参考値										
その他特記すべき事項										

事業番号	42 - 45 - 57 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	二間塚地域排水整備事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 平成30年度	
根拠法令等				
実施の背景	長年二間塚地域において地域排水と農業用水が兼用されてきたが、農業用水の経路変更に伴い当該水路が利用されないため、水路整備と流末変更の必要がある。			
目的	地域排水を整備し、地域の生活を安心、安全にする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
	その他	その他の内容		
	<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>			
	全体計画	計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度	
	●二間塚地域排水整備事業 L=610m 事業内容 境界測量、設計業務、物件補償、道路・排水整備工事			
	<b>施行済</b> 道路改良工事、測量、設計業務			
<b>当該年度</b> ●二間塚地域排水整備工事 8,800,000円 ●二間塚地域排水整備工事ほか3件 55,330,000円（繰越明許）				
<b>翌年度以降</b> 道路・排水整備工事、物件補償、家屋調査				
関連事業				

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 45 - 57 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	二間塚地域排水整備事業					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	0		64,130		95,102		41,770		
	内 訳 (人件費を除く)			工事請負費	64,130	工事請負費	95,100	工事請負費	38,720	
						補償補填及び賠償金	2	委託料	3,050	
	人件費	合計	0.00 人	0	0.30 人	2,284	0.30 人	2,313	0.30 人	2,235
		正職員	人	0	0.30 人	2,284	0.30 人	2,313	0.30 人	2,235
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
総事業費	0		66,414		97,415		44,005			
財源	合計	0		64,130		95,102		41,770		
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債			57,400		93,800		38,700		
	その他特財									
	その他特財の内容									
一般財源	0		6,730		1,302		3,070			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	地域排水整備事業の完成								
	成 果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		排水路、道路の完成			路線	1				
事業の自己評価	地域排水を整備し、道路拡幅することで、市民生活の安全、安心を向上させる。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R4決算用

事業番号	42 - 45 - 59 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 2 土木管理費	目 3 道路新設改良費	
事業名	市道等局部改良事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 平成30年度	
根拠法令等				
実施の背景	道路、橋梁、水路等の施設が経年劣化し、機能低下が生じている状況を改善する必要がある。			
目的	著しく低下した各施設の機能を回復させ、市民生活を安定させる。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="checkbox"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先 <input type="checkbox"/>
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先 <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容 <input type="checkbox"/>			
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
<p>●市道等局部改良工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道相川竹岡線排水整備工事 5,060,000円</li> <li>・市道長崎桜井線道路改良工事 3,202,100円</li> <li>・富津仲町地域排水整備工事 5,060,000円</li> <li>・千種新田地先排水整備工事 585,200円</li> <li>・市道旧競馬場入口線排水整備工事 356,400円</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 14,263,700円</p>				
関連事業				

単年度用

R4決算用

事業番号	42 - 45 - 59 - 1		成果説明書・掲載事業								
<b>事業シート（概要説明書）</b>											
科目	款	8	土木費	項	2	土木管理費	目	3	道路新設改良費		
事業名	市道等局部改良事業					担当課	建設課				
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）				
コスト	合計	15,000		14,264		23,257		14,520			
	内訳 (人件費を除く)	工事請負費	15,000		14,264		23,257		14,520		
	人件費	合計	0.30 人	2,284		0.30 人	2,284		0.30 人	2,235	
		正職員	0.30 人	2,284		0.30 人	2,284		0.30 人	2,235	
臨時職員等		人	0		人	0		人	0		
総事業費	17,284		16,548		25,570		16,755				
財源	合計	15,000		14,264		23,257		14,520			
	国県支出金										
		国県支出金の内容									
	地方債	13,500		12,800		11,500		13,000			
	その他特財	1,500									
	その他特財の内容		公共施設等マネジメント基金繰入金								
一般財源	0		1,464		11,757		1,520				
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度				
	活動実績										
	単位当たりコスト			総事業費	／						
事業成果	成果目標	著しく低下した施設の機能を回復する工事を完了する。									
	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度				
	成果										
事業の自己評価	今後増加が予想される著しく低下する施設の機能回復に対応する必要がある。										
比較参考値											
その他特記すべき事項											

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 60 - 15 - 1	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>
<b>事業シート（概要説明書）</b>			
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 4 橋梁維持費
事業名	橋梁長寿命化修繕事業		担当課 建設課
総合戦略施策名	基本目標	__3くらしやすく移住しやすい環境づくり__	
	基本的な施策の方向	① くらしやすい環境を整える	施策番号 3 作成責任者 岩崎 太志
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度 平成25年度
根拠法令等	道路法		
実施の背景	日本の道路橋は、昭和30年代に始まる高度経済成長期を中心に大量に建設され、これら道路橋の多くは建設後約40年～50年が経過し、更に管理橋梁の多くが、急速に高齢化が進む状況となっている。		
目的	本計画は、定期点検による橋梁の状態の把握、予防的な修繕および計画的な架け替えを着実に進め、橋梁の長寿命化と橋梁の修繕・架け替えに係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的とする。		
対 象	市民		対象者数(全住民に対する割合)
			40,402 人 ( 100.0 % )
	直接実施	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
	委託先・指定管理者 入札による		
	指定管理		
実施方法	直接補助	間接補助	補助先
	実施主体		
	貸付	貸付先	
	その他	その他の内容	
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>			
全体計画	計画期間	平成 25 年度 ～ 令和 5 年度	
事業概要	富津市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）を活用し、計画的な維持修繕等の実施により橋梁の長寿命化を図る。		
	※橋梁長寿命化修繕計画：補修の優先順位を決め、修繕費を試算し、修繕費の平準化を図る計画		
	<b>施行済</b>		
	富津市道の橋梁点検（5年毎）1回 橋梁長寿命化修繕計画（5年毎）1回 橋梁修繕業務委託 6件 橋梁修繕工事 6橋		
	<b>当該年度</b>		
●橋梁（海岸橋、桜井橋、清滝橋）補修工事 計170,573,100円 ●橋梁補修設計（宮前西橋、道滝橋）業務委託等 計15,180,000円 ●橋梁点検業務委託 69,729,132円			
<b>翌年度以降</b>			
富津市道の橋梁点検 橋梁長寿命化修繕計画 橋梁補修工事（清滝橋）			
関連事業			

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 60 - 15 - 1		成果説明書・掲載事業	○							
<b>事業シート（概要説明書）</b>											
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	4	橋梁維持費		
事業名	橋梁長寿命化修繕事業				担当課	建設課					
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）				
コスト	合計	70,000		255,482		205,563		171,391			
	内訳 (人件費を除く)	委託料	40,000		工事請負費	170,573		工事請負費	157,696		
		工事請負費	30,000		委託料	84,909		委託料	13,893		
								補償費	1,143		
	人件費	合計	0.40 人	3,045		0.40 人	3,045		0.40 人	3,084	
		正職員	0.40 人	3,045		0.40 人	3,045		0.40 人	3,084	
		臨時職員等	人	0		人	0		人	0	
	総事業費	73,045		258,527		208,647		177,350			
	財源	合計	70,000		255,482		205,563		171,391		
国県支出金		38,500		124,910		100,608		93,451			
		国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金（55%）							
地方債		16,200		66,000		77,100		53,900			
その他特財		1,800		500							
		その他特財の内容		公共施設等マネジメント基金繰入金							
一般財源	13,500		64,072		27,855		24,040				
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度			
		定期点検業務（橋梁）			業務	1	—	—			
		計画策定業務（橋梁）			業務	—	—	—			
	橋梁補修工事			橋	3	5	1				
単位当たりコスト	総事業費 /										
事業成果	成果目標	富津市の橋梁の長寿命化と橋梁の修繕、架け替えに係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性、信頼性を確保するため、計画期間内での整備を成果指標とする。									
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度			
		工事進捗率（対策完了橋/対策実施する192橋）			%	4	3	1			
事業の自己評価	平成26年3月31日国土交通省令第39号により、5年ごとの近接目視による点検が義務づけられたことから、点検結果をふまえ緊急度等を考慮して、橋梁長寿命化修繕事業を進めていくこととなる。										
比較参考値											
その他特記すべき事項	橋梁補修工事を実施した橋梁（毘沙門橋、久縄橋、海岸橋、神田橋、丹後橋、桜井橋、清滝橋）										

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 60 - 30 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	舗装長寿命化修繕事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標	__3くらしやすく移住しやすい環境づくり__		
	基本的な施策の方向	① くらしやすい環境を整える	施策番号 3 作成責任者 岩崎太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 平成25年度	
根拠法令等	道路法			
実施の背景	富津市が管理している市道部の舗装は425,741mあり、これらの舗装の状況を的確に把握し維持していく必要がある。			
目的	本計画は、定期点検による舗装の状態の把握、予防的な修繕を着実に進め、舗装の長寿命化と修繕に係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的とする。			
対 象	市民		対象者数(全住民に対する割合)	
			40,402 人 ( 100.0 % )	
	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>
	委託先・指定管理者			
	直接補助 <input type="radio"/>	間接補助 <input type="radio"/>	補助先 <input type="radio"/>	実施主体 <input type="radio"/>
実施方法	貸付 <input type="radio"/>	貸付先 <input type="radio"/>		
	その他 <input type="radio"/>	その他の内容 <input type="radio"/>		
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
全体計画	計画期間	平成 25 年度 ~ 令和 10 年度		
事業概要	●舗装点検を実施し、富津市舗装長寿命化修繕計画を作成する。この計画に基づき、社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）を活用し、計画的な維持修繕等の実施により舗装の長寿命化を図る。			
	※舗装長寿命化修繕計画：補修の優先順位を決め、修繕費を試算し、修繕費の平準化を図る計画			
	施行済	舗装点検業務		
	当該年度	富津市舗装修繕計画策定業務委託 7,920,000円		
翌年度以降	舗装修繕工事			
関連事業				

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 60 - 30 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	舗装長寿命化修繕事業					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	0		7,920		0		0		
	内訳 (人件費を除く)			委託料	7,920					
	人件費	合計	0.30 人	2,284	0.30 人	2,284	0.00 人	0	0.00 人	0
		正職員	0.30 人	2,284	0.30 人	2,284	人	0	人	0
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
総事業費	2,284		10,204		0		0			
財源	合計	0		7,920		0		0		
	国県支出金	国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	その他特財の内容								
	一般財源	0		7,920		0		0		
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		定期点検業務（舗装）			業務					
		計画策定業務（舗装）			業務					
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	富津市における舗装長寿命化と修繕に係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性、信頼性を確保するため、計画期間内での整備を成果指標とする。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		工事進捗率（年度末施工済額／総事業費）			%					
事業の自己評価	点検結果をふまえ、緊急度等を考慮して、市道の舗装長寿命化を進めていく。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 60 - 50 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	道路附属物長寿命化修繕事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 平成25年度	
根拠法令等	道路法			
実施の背景	富津市が管理している市道部の道路附属物（標識、道路照明等）は多数あり、これらの状況を的確に把握し維持していく必要がある。			
目的	本計画は、定期点検による道路附属物の状態の把握、予防的な修繕を着実に進め、道路附属物の長寿命化と修繕に係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
その他	その他の内容			
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
全体計画	計画期間	平成 24 年度 ~ 令和 10 年度		
事業概要	●道路附属物点検を実施した後に点検結果活用し、計画的な維持修繕等の実施により道路附属物の長寿命化を図る。			
	施行済	道路附属物点検業務（道路照明180基）		
	当該年度	富津市道路附属物点検業務委託 9,240,000円		
	翌年度以降	道路附属物修繕工事		
関連事業				

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 60 - 50 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	道路附属物長寿命化修繕事業					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	10,000		9,240		0		0		
	内訳 (人件費を除く)	委託料	10,000		9,240					
	人件費	合計	0.30 人	2,284	0.30 人	2,284	0.00 人	0	0.00 人	0
		正職員	0.30 人	2,284	0.30 人	2,284	人	0	人	0
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
総事業費	12,284		11,524		0		0			
財源	合計	10,000		9,240		0		0		
	国県支出金	5,000								
		国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財									
その他特財の内容										
一般財源	5,000		9,240		0		0			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		定期点検業務（道路附属物）			業務	1				
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	富津市における道路附属物長寿命化と修繕に係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性、信頼性を確保するため、計画期間内での整備を成果指標とする。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		工事進捗率（年度末施工済額/総事業費）			%					
事業の自己評価	点検結果をふまえ、緊急度等を考慮して、市道の道路附属物長寿命化を進めていく。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 61 - 40 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	法面長寿命化修繕事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 平成25年度	
根拠法令等	道路法			
実施の背景	富津市が管理している市道部の法面は多数あり、これらの法面の状況を的確に把握し維持していく必要がある。			
目的	本計画は、定期点検による法面の状態の把握、予防的な修繕を着実に進め、法面の長寿命化と修繕に係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的とする。			
対 象	市民	対象者数(全住民に対する割合)		
		40,402 人 ( 100.0 % )		
	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>
	委託先・指定管理者			
	直接補助	間接補助	補助先	実施主体
貸付	貸付先			
その他	その他の内容			
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
全体計画	計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 10 年度		
事業概要	<p>●法面点検を実施し、富津市法面長寿命化修繕計画を作成する。この計画に基づき、社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）を活用し、計画的な維持修繕等の実施により法面の長寿命化を図る。</p> <p>※法面長寿命化修繕計画：補修の優先順位を決め、修繕費を試算し、修繕費の平準化を図る計画</p>			
	施行済			
	点検・計画策定			
	当該年度			
	<p>●市道中上線法面測量業務委託ほか2件 1,925,000円</p> <p>●市道中上線法面工事ほか1件 28,119,300円</p> <p>●市道永町日影線法面工事 30,300,000円（繰越明許）</p>			
翌年度以降				
点検・計画策定・詳細設計・補修工事				
関連事業				

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 61 - 40 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	法面長寿命化修繕事業					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	33,000		60,344		39,470		10,465		
	内訳 (人件費を除く)	工事請負費	33,000	工事請負費	58,419	工事請負費	39,470	委託料	6,865	
				委託料	1,925			工事請負費	3,600	
	人件費	合計	0.27 人	2,056	0.27 人	2,056	0.27 人	2,081	0.27 人	2,011
		正職員	0.27 人	2,056	0.27 人	2,056	0.27 人	2,081	0.27 人	2,011
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
総事業費	35,056		62,400		41,551		12,476			
財源	合計	33,000		60,344		39,470		10,465		
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債	32,000		54,200		18,100				
	その他特財									
	その他特財の内容									
一般財源	1,000		6,144		21,370		10,465			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		定期点検業務（法面）			業務					
		計画策定業務（法面）			業務			1		
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	富津市の法面の長寿命化と法面の修繕に係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性、信頼性を確保するため、計画期間内での整備を成果指標とする。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		工事進捗率（対策完了法面／対策実施する法面）			%	4%	2%			
事業の自己評価	点検結果をふまえ、緊急度等を考慮して、市道の法面長寿命化を進めていく。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 75 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業				
<b>事業シート（概要説明書）</b>							
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	
	目			3	道路新設改良費		
事業名	市道山王下飯野線整備事業				担当課	建設課	
総合戦略施策名	基本目標	__3くらしやすく移住しやすい環境づくり__			担当係	建設係	
	基本的な施策の方向	①	くらしやすい環境を整える	施策番号	3	作成責任者 岩崎太志	
事務区分	自治事務	<input type="radio"/>	法定受託事務	<input type="checkbox"/>	事業開始年度	平成25年度	
根拠法令等	道路法						
実施の背景	市道山王下飯野線は都市計画道路に指定されている路線であり、一般国道465号と市街地を結ぶ道路ネットワークとしての機能を有する重要な路線である。						
目的	当該路線の整備により、市役所本庁舎及び大貫駅周辺地区の将来的な発展に繋がる。また、県道大貫青堀線には歩道が未整備な箇所があり、車両との接触事故が発生していることから、早期の整備を図る。						
事業概要	対象	市民				対象者数(全住民に対する割合)	
						40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	<input type="radio"/>	一部委託	<input type="checkbox"/>
			委託先・指定管理者		指定管理	<input type="checkbox"/>	
		直接補助	<input type="checkbox"/>	間接補助	<input type="checkbox"/>	補助先	
		貸付	<input type="checkbox"/>	貸付先			
		その他	<input type="checkbox"/>	その他の内容			
	<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>						
	全体計画	計画期間		平成 30 年度 ~ 令和 10 年度			
		市道山王下飯野線整備事業 L=1,300m W=12.0m ●社会資本整備総合交付金都市再生整備計画事業（庁舎及び大貫駅周辺地区） H29年度から社会資本整備総合交付金（道路事業） H29年度 埋蔵文化財調査・用地取得 H30年度 埋蔵文化財調査 R元年度 埋蔵文化財調査 R2年度 用地取得					
施行済	道路詳細設計・地質調査・用地測量・土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償・道路改良工事						
当該年度	●市道山王下飯野線道路改良工事 令和4年度支出分 19,800,000円（契約額49,500,000円）						
翌年度以降	用地取得、登記業務、道路改良工事						
関連事業							

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 75 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	市道山王下飯野線整備事業					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	10,000		19,800		0		5,875		
	内 訳	工事請負費	10,000	工事請負費	19,800			公有財産購入費	4,837	
								役務費	868	
								委託料	169	
								需用費	1	
	合計	0.27 人	2,056	0.20 人	1,523	0.00 人	0	0.20 人	1,490	
	人件費	正職員	0.27 人	2,056	0.20 人	1,523	人	0	0.20 人	1,490
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費	12,056		21,323		0		7,365		
	財源	合計	10,000		19,800		0		5,875	
国県支出金		5,000						613		
		国県支出金の内容	社会資本整備総合交付金（道路事業）							
地方債		4,500		17,800				500		
その他特財										
	その他特財の内容									
一般財源	500		2,000		0		4,762			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		用地取得			千円			4,837		
		道路改良工事			千円	19,800				
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	富津市の道路網を整備し、定住・観光・産業の振興を図るため、計画期間内での完成を成果目標とする。								
	成 果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		道路の完成			路線					
事業の自己評価	国の交付金の配分が計画通りになるように、関係機関や千葉県と連絡を密にして事業を推進する。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

事業番号	42 - 75 - 15 - 1	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>	
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	市道下飯野線整備事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標	__3くらしやすく移住しやすい環境づくり__	担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	① くらしやすい環境を整える	施策番号 3 作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度 平成25年度	
根拠法令等	道路法			
実施の背景	市道下飯野線は、千葉県で整備が進められている県道君津大貫線（本郷バイパス）と県道大貫青堀線を東西に連絡する、交通移動円滑化に資する重要な路線である。			
目的	当該路線の整備により、市役所本庁舎や消防防災センター等の公共施設と富津市域とのアクセス性が向上し、県道の交通分散化による渋滞緩和と防災機能の強化を図る。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="checkbox"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者 入札による		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先 <input type="checkbox"/>
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先 <input type="checkbox"/>	実施主体 <input type="checkbox"/>
その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容 <input type="checkbox"/>			
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
全体計画	計画期間	平成 25 年度 ~ 令和 5 年度		
事業概要	市道下飯野線整備事業 L=1,870m W=11.5m			
	●社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）			
	H29年度から社会資本整備総合交付金（道路事業）			
	H24年度	道路詳細設計・地質調査業務		
H25年度	用地測量・土地評価・不動産鑑定・物件調査			
H26年度	用地取得			
H27年度	土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償・道路改良工事			
H28～31年度	用地取得・物件補償・道路改良工事			
R2年度	用地取得・物件調査・物件補償・道路改良工事			
R3年度	道路改良工事			
R4年度	道路改良工事			
施行済	道路詳細設計・地質調査・用地測量・土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償・道路改良工事			
当該年度	●道路改良工事 191,778,000円 ●市道下飯野線交差点改良に伴う設計業務委託 715,000円 ●物件補償（電柱移設費） 10,765,039円			
翌年度以降				
関連事業				

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 75 - 15 - 1		成果説明書・掲載事業	○						
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	市道下飯野線整備事業				担当課	建設課				
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	0		203,258		19,224		41,735		
	（人件費を除く） 内訳	工事請負費			191,778		15,209		23,980	
		補償補填及び賠償金			10,765		委託料		4,015	
		委託料			715				委託料	
									補償補填及び賠償金	
								需用費		
	合計	0.00 人	0		0.85 人		6,471		0.85 人	
	正職員	人	0		0.85 人		6,471		0.85 人	
	臨時職員等	人	0		人		0		人	
	総事業費	0		209,729		25,777		48,066		
財源	合計	0		203,258		19,224		41,735		
	国県支出金					7,605		17,532		
	国県支出金の内容	社会資本整備総合交付金（50%）								
	地方債			121,600		6,800		14,200		
	その他特財									
その他特財の内容										
一般財源	0		81,658		4,819		10,003			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		用地取得				千円			9,036	
		道路改良工事				千円	191,778	15,209	23,980	
	物件補償				千円	10,765		3,881		
単位当たりコスト	総事業費 /									
事業成果	成果目標	富津市の道路網を整備し、定住・観光・産業の振興を図るため、計画期間内での完成を成果目標とする。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		道路の完成				路線	0	0	0	
事業の自己評価	国の交付金の配分が計画通りになるように、関係機関や千葉県と連絡を密にして事業を推進する。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 75 - 18 - 1	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>
<b>事業シート（概要説明書）</b>			
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費
事業名	市道浅間山線整備事業		担当課 建設課
総合戦略施策名	基本目標	__3くらしやすく移住しやすい環境づくり__	担当係 建設係
	基本的な施策の方向	① くらしやすい環境を整える	施策番号 3 作成責任者 岩崎 太志
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度 平成25年度
根拠法令等	道路法		
実施の背景	市道浅間山線は、一般国道465号と主要地方道久留里鹿野山湊線を結ぶバイパス路線であり、富津市有数の観光施設であるマザー牧場等への重要なアクセス道路である。		
目的	東関東自動車道館山線竹岡ICまでの4車線化に伴い、今後、更なる交通量の増加が見込まれることから円滑な交通を確保し、観光振興へ寄与する。		
対 象	市民		対象者数(全住民に対する割合)
			40,402 人 ( 100.0 % )
	直接実施	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
	委託先・指定管理者 入札による		
	指定管理		
実施方法	直接補助	間接補助	補助先
	実施主体		
	貸付	貸付先	
	その他	その他の内容	
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>			
全体計画	計画期間	平成 25 年度 ~ 令和 5 年度	
事業概要	市道浅間山線道路改良事業 L=1,780m W=9.0m		
	●社会資本整備総合交付金（道路事業）		
	H26年度	路線測量・道路概略設計	
	H27年度	道路詳細設計・地質調査	
	H28年度	道路改良工事	
H29年度	道路改良工事		
H30年度	-		
H31 (R1) 年度	道路改良工事・用地測量		
R2年度	道路改良工事・用地取得		
R3年度	用地取得		
R4年度	用地取得		
<b>施行済</b>			
道路詳細設計・地質調査・用地測量・土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償・道路改良工事			
<b>当該年度</b>			
●用地取得 438,889円 ●収入印紙 2,000円			
<b>翌年度以降</b>			
道路改良工事・用地取得			
関連事業			

複数年度用

R4決算用

事業番号	42 - 75 - 18 - 1		成果説明書・掲載事業	○						
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	市道浅間山線整備事業				担当課	建設課				
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	124,071		441		37,774		75,246		
	（人件費を除く） 内訳	工事請負費	90,000	公有財産購入費	439	工事請負費	23,595	工事請負費	56,445	
		委託料	33,000	需用費	2	公有財産購入費	10,582	委託料	12,227	
		公有財産購入費	1,038			委託料	3,588	公有財産購入費	4,964	
		旅費	25			需用費	9	役務費	1,609	
		需用費	8					需用費	1	
	人件費	合計	0.60 人	4,568	0.60 人	4,568	0.60 人	4,625	0.60 人	4,469
		正職員	0.60 人	4,568	0.60 人	4,568	0.60 人	4,625	0.60 人	4,469
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費	128,639		5,009		42,399		79,715		
財源	合計	124,071		441		37,774		75,246		
	国県支出金	61,500				16,923		35,214		
		国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金（50%）						
	地方債	59,600				15,100		31,100		
	その他特財									
		その他特財の内容								
一般財源	2,971		441		5,751		8,932			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		道路改良工事			千円	0	23,595	56,445		
		用地取得			千円	439	10,582	4,965		
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	富津市の道路網を整備し、定住・観光・産業の振興を図るため、計画期間内での完成を成果目標とする。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		道路の完成			路線	0	0	0		
事業の自己評価	国の交付金の配分が計画通りになるように、関係機関や千葉県と連絡を密にして事業を推進する。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R4決算用

事業番号	44 - 15 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 3 河川費	目 1 河川総務費	
事業名	河川総務関係費		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	法定外負担金			
実施の背景	河川管理者として管理業務を遂行するための経費。			
目的	河川管理業務を円滑に遂行することを目的とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先 <input type="checkbox"/>
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先 <input type="checkbox"/>	実施主体 <input type="checkbox"/>
	その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容 <input type="checkbox"/>		
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●全国治水砂防協会千葉県支部負担金・・・208,000円 正会員費18,000円+特別事業会費190,000円</li> <li>●千葉県河川協会負担金・・・35,000円 正会員費20,000円+特別事業会費15,000円</li> </ul>				
関連事業				

単年度用

R4決算用

事業番号	44 - 15 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	3	河川費	目	1	河川総務費	
事業名	河川総務関係費					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	214		243		203		304		
	内 訳 (人件費を除く)	負担金補助及び交付金	214		243		203		304	
	人件費	合計	0.28 人	2,132	0.28 人	2,132	0.28 人	2,158	0.28 人	2,086
		正職員	0.28 人	2,132	0.28 人	2,132	0.28 人	2,158	0.28 人	2,086
臨時職員等		人	0	人	0	人	0	人	0	
総事業費	2,346		2,375		2,361		2,390			
財源	合計	214		243		203		304		
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財									
	その他特財の内容									
一般財源	214		243		203		304			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）				単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
	各団体通常総会				回	各1	各1	各1		
単位当たりコスト	総事業費 /									
事業成果	成果目標	河川の適正な維持管理を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。								
	成果指標名（実績値/目標値）				単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
事業の自己評価	各協会会員との連絡を図り、治水等の情報の共有した。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R4決算用

事業番号	44 - 25 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 3 河川費	目 2 河川維持費	
事業名	河川維持事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	河川法第100条、富津市準用河川管理規則、富津市公共用財産管理条例			
実施の背景	河川管理者として、河川が適正に利用され、流水の正常な機能を維持し、修繕し、河川の氾濫や増水による被害が生じないように努めなければならない。			
目的	準用河川その他市が管理する河川（水路）の正常な流水を確保するため維持・修繕を行う。			
事業概要	対象		対象者数(全住民に対する割合) 40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	
	その他	その他の内容		
	<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●修繕料 996,600円 <ul style="list-style-type: none"> <li>準用河川百目木川修繕工事 929,500円</li> <li>沢田川修繕工事 67,100円</li> </ul> </li> <li>●重機借上料 998,690円 <ul style="list-style-type: none"> <li>沢田川河川閉塞対応に伴う重機借上げ 515,680円</li> <li>二間塚地先護岸修繕に伴う重機借上げ 475,640円</li> </ul> </li> </ul>			
	関連事業			

単年度用

R4決算用

事業番号	44 - 25 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8 土木費		項	3 河川費		目	2 河川維持費		
事業名	河川維持事業					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	2,500		1,995		2,421		731		
	内 訳 (人件費を除く)	需用費	1,000	使用料及び賃借料	999	使用料及び賃借料	991	委託料	434	
		使用料及び賃借料	1,000	需用費	996	需用費	946	使用料及び賃借料	203	
		委託料	500			委託料	484	原材料費	94	
	人件費	合計	0.58 人	4,416	0.58 人	4,416	0.58 人	4,471	1.18 人	5,621
		正職員	0.58 人	4,416	0.58 人	4,416	0.58 人	4,471	0.58 人	4,320
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	0.60 人	1,301
	総事業費	6,916		6,411		6,892		6,352		
	財 源	合計	2,500		1,995		2,421		731	
国県支出金										
		国県支出金の内容								
地方債										
その他特財										
	その他特財の内容									
一般財源	2,500		1,995		2,421		731			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		河川維持管理工事等実施箇所			箇所	2	4	3		
	単位当たりコスト	総事業費	/	実施箇所		3,206	2,010	2,117		
事業成果	成果目標	河川を適正に維持管理し、流水の正常な機能を維持する。なお、河川の維持管理状況・流水機能の確保状況を表す統計値等がなく、成果指標を設定することは困難である。								
	成 果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
事業の自己評価	緊急度・影響度を勘案し優先順位を考慮しながら、限られた予算の中で、安全・安心な河川機能の維持に努める。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R4決算用

事業番号	46 - 15 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>	
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 8 土木費	項 4 港湾費	目 1 港湾管理費	
事業名	港湾管理総務関係費		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度	
根拠法令等	法定外負担金			
実施の背景	港湾管理業務を遂行するための経費。			
目的	港湾管理業務を円滑に遂行することを目的とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先 <input type="checkbox"/>
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先 <input type="checkbox"/>	実施主体 <input type="checkbox"/>
	その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容 <input type="checkbox"/>		
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●千葉県港湾協会負担金・・・8,000円 普通会員 5,000円 特別会員 3,000円</li> <li>●木更津港湾愛護協会負担金・・・1,410,000円 令和2年度特別とん譲与税78,348,477円の1.8%</li> <li>●海上保安協会負担金・・・100,000円</li> <li>●浜金谷港美港会負担金・・・50,000円</li> <li>●港湾整備事業負担金……………4,846,875円 交付金事業負担金 4,846,875円</li> </ul>				
関連事業				

単年度用

R4決算用

事業番号	46 - 15 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業	○						
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	8	土木費	項	4	港湾費	目	1	港湾管理費	
事業名	港湾管理総務関係費				担当課	建設課				
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	11,971		6,415		4,314		1,875		
	内 訳 (人件費を除く)	負担金補助及び交付金	11,971		6,415		4,314		1,875	
	人件費	合計	0.21 人	1,599	0.21 人	1,599	0.21 人	1,619	0.21 人	1,564
		正職員	0.21 人	1,599	0.21 人	1,599	0.21 人	1,619	0.21 人	1,564
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
総事業費	13,570		8,014		5,933		3,439			
財源	合計	11,971		6,415		4,314		1,875		
事業実績	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債	5,000								
	その他特財									
		その他特財の内容								
一般財源	6,971		6,415		4,314		1,875			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		各団体通常総会			回	各1	各1	各1		
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	港湾管理業務を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。								
	成 果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
事業の自己評価	各協会会員との連絡を図り、情報を共有した。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R4決算用

事業番号	64 - 20 - 20 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 11 災害復旧費	項 1 公共土木施設災害復旧	目 2 河川災害復旧費	
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（単独事業・河川）		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 吉田晃洋	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度	
根拠法令等	河川法第100条、富津市準用河川管理規則、富津市公共用財産管理条例			
実施の背景	河川管理者として、河川が適正に利用され、流水の正常な機能を維持し、修繕し、河川の氾濫や増水による被害が生じないように努めなければならない。 緊急かつ国の災害認定の対象とならない災害箇所を復旧する。			
目的	主に豪雨による護岸の崩落などを復旧し、速やかに正常な流水の確保を図るため復旧を行う。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 40,402 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者 市内業者		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
その他	その他の内容			
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
<p>●工事請負費</p> <p>・準用河川百目木川護岸復旧工事 979,000円</p>				
関連事業				

単年度用

R4決算用

事業番号	64 - 20 - 20 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	11	災害復旧費	項	1	公共土木施設災害復旧	目	2	河川災害復旧費	
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（単独事業・河川）					担当課	建設課			
[ 単位：千円 ]	令和5年度（予算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）			
コスト	合計	1,000		979		45,922		1,287		
	内訳 (人件費を除く)	工事請負費	1,000		979		委託料	28,629		
							工事請負費	11,044		
							使用料及び賃借料	6,249		
	人件費	合計	1.28 人	6,312	1.28 人	6,312	1.28 人	6,391	1.28 人	6,366
		正職員	0.68 人	5,177	0.68 人	5,177	0.68 人	5,242	0.68 人	5,065
臨時職員等		0.60 人	1,135	0.60 人	1,135	0.60 人	1,149	0.60 人	1,301	
総事業費	7,312		7,291		52,313		7,653			
財源	合計	1,000		979		45,922		1,287		
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債					18,500				
	その他特財									
		その他特財の内容								
	一般財源	1,000		979		27,422		1,287		
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
		河川災害復旧箇所			件	1	4	1		
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	災害により被災した河川の機能回復を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度		
事業の自己評価	豪雨や台風等の自然災害により発生する災害であり、市民（利用者）の安全・安心を直ちに確保すべく、対応しているが、災害の規模によっては対応に限界が生じる。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										